

和光市における協働事業の検証（報告書）

●事業の概要

| | |
|-----|-------------------|
| 事業名 | 新倉ふるさと民家園管理運営業務委託 |
|-----|-------------------|

| | | |
|------|-----------|---------|
| 事業主体 | 事業実施団体 | 行政（担当課） |
| | 和光市古民家愛好会 | 生涯学習課 |

●事業の成果

事業の成果指標を定めていますか。 はい いいえ

「はい」と回答した場合、指標の内容をご記入ください

| | 年度当初 | 年度末実績（想定） |
|-------------|---|-----------|
| 事業成果 指 標 | | |
| コメント | 「事業企画内訳表」に掲載した企画のほか、古民家愛好会独自の企画として、「麦秋祭」、「収穫祭」を開催。また、お正月の特別開園日に正月遊びを教えたり、甘酒、みかんを来園者にもてなしたりした。 | |

「いいえ」と回答した場合、その理由は何ですか。

市指定文化財である「旧富岡家住宅」の文化財としての保存維持管理を行いつつ、古民家の公開と民俗行事の復元が目的であるため、特に成果指標は定めていない。

●協働の結果

(1) プロセスの積み重ね

- ① 事業進捗状況の確認を定期的に行っていますか。 はい いいえ
- ② 問題が生じたときに、すぐに話し合えましたか。 はい いいえ 該当なし

上の①～②までの項目で、「いいえ」と回答したものがあつた場合、どのようなことで

できなかったか、どうあれば良かったのかをご記入ください。

| |
|--|
| |
|--|

(2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築された場合、その内容を具体的に下の左欄に記入し、このつながりや連携を今後の協働事業の展開にどのように活かそうと考えているかを右の欄にご記入ください。

(新しいつながりや連携の構築がなかった場合、この欄への記入は不要です。)

| | |
|---|---|
| <p>【具体的内容】</p> <p>伝統的風習や行事を体験、文化財の大切さ必要性を体で知ってもらう。</p> | <p>【つながりや連携の活用】</p> <p>地域住民及び見学者などと各世代間の交流がより得られる場所にしたい。</p> <p>昔の農家の暮らし等を学んでもうらうため、小学校と連携し社会科見学の授業で児童に来園してもらっている。</p> |
|---|---|

(3) 市民満足度の向上

事業の受益者の満足度について調べていますか。 はい いいえ

「はい」と答えた方は、受益者の満足度を調べるために行政としてどのような方法を用いたかを、「いいえ」と答えた方は、その理由を下欄にご記入ください。

| |
|--|
| <p>新倉ふるさと民家園の管理運営を行っていくうえでの事業実施なので、伝統的風習や行事全般については、これまで特に満足度について調べてはいない。例年参加者が多い事業については、来園者の好評を得ているものと考えている。</p> |
|--|

(4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組めましたか。

- ①「相互理解の原則」 はい いいえ
- ②「目的・評価共有の原則」 はい いいえ
- ③「自立の原則」 はい いいえ

④「対等の原則」

はい

いいえ

上の①～④の項目で、「いいえ」と回答したものがあつた場合、どのようなことで取り組めなかつたか、どうあれば良かつたかをご記入ください。

| |
|--|
| |
|--|

⑤「役割分担明確化の原則」に則つて事業に取り組めましたか。

はい

いいえ

「はい」と回答した場合の役割分担をご記入ください。

| 団 体 | 行 政 |
|-----|----------------------------------|
| | 新倉ふるさと民家園管理運營業務役割分担表に基づき、実施している。 |

「はい」と回答した場合、役割分担の中で良かつた点や改善点をご記入ください。

| |
|--|
| 市指定文化財を維持管理するうえでは、「ハード面」の維持管理と「ソフト面」の維持管理の分担がある。中でも簡易な「ハード面」の管理について、月例会議で意見交換を行うことでうまく進んでいる。 |
|--|

⑥「情報公開の原則」について、どのような手段で情報公開をしましたか。

| |
|--|
| 古民家愛好会へは、月例会議において、直近の諸課題や次年度事業（費用）等時期ごとにお互い情報交換している。 |
|--|

(5) 協働の成果

協働することで、団体、市、市民それぞれにどのようなメリットがありましたか。

| |
|---|
| <p>【団体のメリット】</p> |
| <p>【市のメリット】</p> <p>一般的な施設の維持管理ではないが、地域住民主体の愛好会との協働事業であることにより、より高い関心と文化財保護意識によって管理運営を行っていただけるとともに周辺地域にも文化財保護意識が高まる。</p> |

【市民のメリット】

伝統的民俗行事や生活文化が古民家という文化財を通じて、体験をしたり参加できる。

事業を実施していく中で、改善が必要だと思われることはありますか。

指定文化財の旧富岡家住宅本体や、伝統民俗行事の改善については、今のところ必要ない。

(6) その他

協働事業を実施している中での、率直なご感想をご記入ください（良かった点、苦勞した点、印象に残っていること、事務量の変化・協働に対する意識の変化等があったか等）。

協働型委託を当初進めたときは、人件費の面について苦勞した。

古民家愛好会は、民家園に愛着をもって管理していただいているので、通常の委託管理以上の成果をあげてくれている。